

# AJU 愛実

## 第7号

発行者：特定非営利活動法人愛実の会

|                |       |
|----------------|-------|
| 理事長島しづ子より      | P1    |
| 事務局より・「小窓から2」  | P2    |
| 愛実友だちの家のページ    | P3~4  |
| 大地の家のページ       | P5~6  |
| 紙風船のページ        | P7~10 |
| 「人間関係形成能力」／南寿樹 | P11   |
| 寄付者名簿          | P12   |

### 愛実友だちの家



### 大地の家



### 紙風船



## 夢を生きる

クリスマスおめでとうございます！！

毎年 12 月になるとイルミネーションを見に、みどりの家の人たちと名古屋駅や栄の街周辺をドライブします。そして複雑な気持ちになります。街の中に住むホームレスの人たちが空き缶の値段が半分以下になってしまったと聞きます。この時期から寒さが酷くなるので野宿の辛さを思っ悲しくなります。厳しい現実と賑やかな飾り、酷いギャップです。

12 月 9 日は野宿するおじさんたちの家「いこいの家」のクリスマスでした。私は「愛実の会」と平行して「いこいの家」の支援を続けてきました。「いこいの家」のスタッフも「愛実の会」を支援してくれています。家族や知人をアシスタントとして送ってくれたスタッフたちもいます。

スタッフとおじさんたちが狭い家に 60 人近く集まりました。それぞれの紹介と話。ギター伴奏の「きよしこの夜」に目をそっとぬぐっているおじさんもありました。「水戸黄門」は手拍子で楽しかった。豚汁とキムチとサラダのお昼に皆ニコニコ。クリスマスプレゼントは手袋・靴下・タオル・りんご。昨年までと違って 30 代の女性が一人そこにいました。「ネットカフェ難民？」かな？

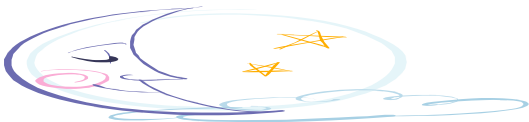
そのクリスマスの最中考えていたのは、苦しみの中にある人は「クリスマスをととても喜べないだろう」と言うことでした。前日に葬儀をしたばかりでしたので。それは深刻な「いのちの瀬戸際」を歩いているホームレスの人にとっても同じことでしょう。

もう 30 年近く前、私の娘は入院中でした。助かる見込み、身体を自由を失った状態で不安でした。教会や幼稚園で何回もクリスマスを祝い、暗い病院に帰りました。本心は「ととてもクリスマスを祝えない！」という気持ちでした。夜間の病棟はほとんど暗いのですが重症の娘の部屋は煌々と灯りが点いています。すぐに病室に行く気持ちになれず、暗い駐車場にいました。目の前に「ヒマラヤスギ」だったのでしょうか、木が並んでいました。飾りもなくただ黒い影でした。天を見上げると星がぼつぼつと輝いていました。涙が出ました。それで、ほっとしました。～最初のクリスマスは私たちのように、頼りない人間への神さまからの「一緒にいるからね」という贈り物だった～と思い出したのです。だからイルミネーションとは反対の暗い現実を生きなくてはならない人のところにこそ喜びは来る！！

あれからいつも助けがあって生きてこられました。20 年前、お母さんたちと「夢」を語り合い、今「夢」の現実を生きている。ありがたいことです。「夢」は「私たち親が大事に思い大事に世話するように、この人たちを大事にしてくれる人たちにこの人たちを託すること。」でした。アシスタントたちがかいがいしく働いてくれています。

「福祉行政の豊かさこそ国の品格だ」と言うような国にしたいものです。

みなさま今年もありがとうございました。よきクリスマスと新年をお迎え下さい。



理事長 島 しづ子

## 「生活介護」と言う言葉

当法人では、通所サービスとホームヘルプサービスを実施しております。このうち、通所サービスについては、障害者自立支援法にいくつかの類型があり、その中の1つである「生活介護」事業を実施しております。実際の内容は、デイサービスと作業所の両方の内容を含んでおります。豊かな内容といえるのではないかと、思っております。

以前、ある友人との話の中で、私の職場の話題になった時、「生活介護」という言葉が出た時、その友人は、「生活介護って、ホームヘルプのこと？」と聞いてきました。もちろん制度上の用語としては違うので、制度上のことについて説明しましたが、感覚としてはなるほどと思いました。ホームヘルプはメンバーの生活にかかる介護になるので、ホームヘルプと「生活介護」と言う言葉はマッチするように思います。

一方、先ほど記載したように制度上「生活介護」事業は通所サービスの1つです。正直最初は通所サービスに「生活介護」という名称がつけられていることになんとなく違和感がありました（名称を考えた人がどういう考えでこの事業名を考えついたかはわかりませんが）。ただ、では通所サービスでメンバーのサポートをすることは生活とは関係なくサポートしているかという、そうではなく、むしろ人間誰でもそうなのですが、この部分は生活だが、この部分は生活と関係ない部分、ということは無いわけで、あれもこれも全てひっくるめて生活、というのが現実だろうと思うわけです。

ということは当法人は「生活介護」事業を通してメンバーの「生活」をサポートしているのだ、ということに改めて思われました。

中森由哉

### 「小窓から」 2

大野義徳

あの暑かった夏も過ぎ行き、木枯らしの吹き付ける季節となった。いや、感覚的には、「いつの間にか、なってしまった」といったところか。このように知らぬ間に移ろう季節と同じく、人の思いや考えもまた変わっていく。

障害者と関わると、この人はどうして障害を負ったのだろう、そして障害とは何なのだろう、と考えることがある。私が関わり始めた頃考えていたことは、障害者にとって障害とは、文字通り「障害」であった。「普通」の人がしなくてもいい苦勞を障害を負うことによって背負って生きている人たち。私の思いは、このつらい状況を生きている人たちをサポートしなければ、というものであった。

しかし、その思いは知らぬ間にだんだん変わっていった。障害者は決してかわいそうな人ではないんだと。障害とは「障害」ではなく「障がい」とでも言い換えるべきものであって、いわばその人の個性のひとつだ、と考えるようになった。障害とは、なければいいものではなく、障害もひっくるめてその人を見ていこうという思いもあったのだろう。これはこれでなかなか居心地のいい考えであったが、それもまた変わって行った。

「障害は個性」という考えが、なんだか障害者にとって失礼で独りよがりな気がしてきたのと、わざわざ定義をしなければ人を見られないことに疲れてきた。

じゃあ今はどうなのか？

「障害者」ではなくって「〇〇さん」であって、障害とは何か？ということも考えなくなってきた。構えることなく自然体で接していきたい、ということ「構えずに」できるようにになれば、と思っている。しかし、またこれも時間が経つと変わっていくのだろう。それはそれでいい。思いや考えが変わっていく自分とゆっくり付き合っていければと思う。

そうやって、冬もまた知らぬ間に春になっていくのだろう。





# 愛実友だちの家のページ

(P 3 ~ 4)

## ★行楽シーズン満喫しました★

これまでもリミックや中山さんのジャズライブなど、大地と合同の企画はいろいろありましたが、なんせ、みんなが集まるには少々せまかく感じる大地の家。

それでもメンバー同士、仲間と一緒に過ごしたい、という思いも強く、10月から毎週水曜日は大地と一緒に過ごすことになった他、これまで別々に行くことの多かった外出も大地と一緒に出かけられるようになりました。この秋は暖かい日が多く、メンバーが外出するには最適。行楽シーズンを満喫し、遠足や今まで行けなかった芋掘りにも参加でき、みんな大満足です。

ただ。。。。お出掛けは楽しいけれど、合同デイの日によったり過ごすことが難しいので、「仲間と一緒に過ごせる広い場所があったらなあ」というのがメンバーの本音。散歩しながら、空き地を見つけると「ここはどうかかな？」なんて話し合っています。



## ◎今年もがんばりました◎

今年度も大地の家と協力して、去る11月16日(日)に熱田生涯学習センターで開催された『あつたあつたか福祉フェスタ』に参加しました。

今回、愛実に任されたのはなんと！！

**福引の景品 計 160 個**

**&**

**エコバッグ**

みんなと相談の結果、廃油と苛性ソーダをペットボトルで混ぜて作る固形石けんと、植物油に蜜蝋を混ぜて作るハンドクリームを景品に、エコバッグにはメンバーの絵を転写プリントして作ることにし、無事、出品することができました。

どちらも好評だったということがメンバーの励みになり、また来年もがんばるぞ、という気持ちです。



←固形石けん

蜜蝋クリーム↓



↓エコバッグ







突然ですが問題です♪  
これはいったい  
何でしょうか？！

答えは。。。

『トイレの目隠し屏風』なんです。

大きなダンボールを見つけるとこんなふう屏風にして使っているんですが、ダンボールのままだとんだか殺風景で。。。

というわけである日みんなで「秋を拾いに」出掛けそれを使ってその屏風にデコレーションを始めました。愛実らしく、ぼちぼち作業を進めていくので、完成したらまたここでご紹介しますね。



これからの楽しみはなんといってもクリスマス会。

それから今年もまた成人式を迎えるメンバーをみんなと一緒にお祝いできることをとてもありがたく幸せに思っています。

厳しい寒さが木枯らしとともにやってきていますが、体調を整えて楽しく、温かい気持ちでメンバーとともに過ごしていきたいと思いますのでこれからもご支援よろしくお願ひします。

# ★大地の家のページ★

(P5～6)

## 秋の遠足@日本昭和村



今年は大地の家では秋の遠足@日本昭和村と冬の遠足@グアムの2コース実施することとなりました。

10月10日(金)、岐阜県美濃加茂の昭和村へ行ってきました。お天気にも恵まれ心地よい風にメンバーは穏やかな表情・・・アシスタントは坂道に必死の形相(笑)。

懐かしさを感じる園内をのんびりと散策したり、体験コーナーでは普段の生活ではなかなか体験できないことを体験しました。

今回はみんなで「パンとバター作り」に挑戦！！

生地をアンパンマンやロールパン、亀の甲羅など好きな形に成形し、オーブンで時間をかけて焼き上げます。初めて触る生の生地の感触に戸惑ったり、何のためらいも無く握りつぶしたり・・・なかなか波乱な体験となりました。

また、焼いている間にバター作りにも挑戦しました。腕が痙攣しそうなぐらい牛乳を振り続け、かなり疲れました(泣)

しかし、苦労した？かいもあり、焼きたてのパンにバター・・・とても美味でした！

## 地下鉄でおでかけ@名駅

10月末に名古屋市営地下鉄名城線・伝馬町駅に待望のエレベーターが新設されました。

これまでは大地の家最寄の伝馬町駅にエレベーターが無かったために車でのお出かけをせざるを得なかったのが、今回のエレベーター設置は非常に嬉しかったです★



↑ 地下鉄名城線伝馬町駅にて

早速でき立てのエレベーターを使ってメンバーと地下鉄でお出かけをしました。

遠足で来年2月にグアムに行くメンバーはパスポートの受け取りに、他メンバーは名古屋駅周辺を散策しました。リニューアルされたばかりの JR セントラルタワーズに行ったり、ミッドランドスクエアで昼食をとったり…それぞれが思い思いのすごし方をしました。

初「地下鉄」のメンバーも多く、ドキドキだったかな？は、さだかではありませんが、皆無事に帰還する事ができました(笑)

でも…う～ん…乗換えが大変だったり、エレベーターが小さくて乗降に時間がかかったり、階段ばかりだったり…まだまだ街の「優しさ」が足りない事を実感しました。

でも！メンバーさんにとっても、アシスタントにとっても普段では味わえない貴重な体験になったと思います。

また機会があれば積極的に公共交通機関を利用したお出かけをしていきたいと思います。

## ★名古屋の街中で紅葉狩り★

ご存知の方も多いかと思いますが、千種区にある東山動植物園では紅葉の季節になると木々が色づき、赤や黄色の紅葉のトンネルが登場します。

昨年に引き続き今年も紅葉を求めて東山動植物園へ行ってきました。

11月28日(金)、当初は雨の予報でしたが、みんなの思いが通じたのか…お出かけ前には雨もあがり紅葉狩りに行ってきました。

到着して、まずはみんなで昼食。焼そば・フランクフルト・きしめん・お好み焼きなどなど…動物園の売店で好きなものを選びました。満腹・満足になった後は動物を見てふれあいました。ヤギやモルモットなどの温厚な動物とじかに触れ合ったり、飼育員のお姉さんの助けもあって抱かせてもらったり、なかなか貴重な体験をしました。



↑背景は鮮やかな紅葉です(白黒…。)

動物園散策後は、さぁ！お待ちかねの紅葉狩りです！！一面鮮やかな紅葉やイチヨウで埋め尽くされ、上を見れば紅葉のトンネルがあり、下を見れば落葉した落ち葉が地面に赤や黄色の絨毯を形作っていました。まるで別世界に来たみたいで本当に綺麗でした。

こんな綺麗な景色をメンバーと見ることができ、メンバーもアシスタントも紅葉を楽しみました。また来年も是非みんなで紅葉狩りに行きたいと思います。



# 紙風船のページ

(P7～10)

## 施設見学



10月22日(水)南区鶴里にある社会福祉法人ニコニコハウスに施設見学に行きました。  
ニコニコさんの建物はとてもきれいで、立派な2階建てでした。  
中に入るとパン屋さん・お弁当作り・しぼり染めの作業をする3ヶ所にわかれていました。  
しぼりの細かい作業やパン作りなど、皆さんとても真剣に一生懸命働いていました。  
ニコニコさんの作業風景から「紙風船に参考にできることはないか」とみんな刺激を受けて帰ってきました。お土産に買ったパンもとても美味しく、何より温かく見学を受け入れて下さったニコニコハウスの皆さんに感謝します。ありがとうございました。

## 外出体験報告



普段、公共交通機関を使う機会の少ないメンバーが、外出する手段を学ぶ事を目的に外出体験の活動を始めました。5月から2人ずつペアで始め、11月の企画でメンバー全員体験を終了しました。電車の乗り方や、街の中での移動の不便さなどいろいろ学ぶことの出来る機会になりました。また来年度も計画していきたいと思います。



NHK見学



名古屋ドームイオン



大高イオン



## ゆたかふれあい祭り

紙風船の今年度の目標でもある「地域とのふれあいを深める」という目的から、デイセンターみなみさん主催の「ゆたかふれあい祭り」に参加しました。

紙風船は人形をつけてジャンケンゲームをしたり、グッズ販売等を行いました。舞台では紙風船の紹介をさせて頂ける機会があり、会場にいる人たちに紙風船の宣伝もしてきました。

これからも地域に支えられながら、頑張っていきたいと思っています。

またどんどんこのような行事には積極的に足を運んで、一人でも多くの人に紙風船を知ってもらえたらいいと思います☆



子供たちとじゃんけんポン♪

オシャレめがねでハイチーズ！



## アート・ラボ展

愛知芸術文化センターにて開催されたアートラボ展に紙風船も出展させていただきました。

会場には、様々な施設の方の作品が展示されていて、陶芸や絵画など、本当に個性溢れる作品ばかりで、とてもゆかいで面白かったです。

お客さんの数はあまり多くはありませんでしたが、来て下さった方の中には、紙風船の事を話すと興味を持って人形劇の話を聞いて下さる方もみえてとても嬉しかったです。

### 【あとがき】

早いもので、今年も残り少なくなりました。この一年は紙風船は公演を6回行い、メンバー・スタッフもこち良い達成感を得る事が出来ました。

そして嬉しい事に紙風船のメンバーが10人全員そろう事が多くなりました。

来年もメンバーが全員そろう事が1日で多くもあります様に…

潮田 則行

## <メンバーの思い>

### 「人形劇と私」

田中 良枝

人形劇を始めて13年目になります。今まで活動してきたことで、多くの人達と出会い、人形劇を通じてさまざまな経験を重ねてきました。時には、夜遅くまでかかった稽古もあって大変だったけど、楽しかった思い出もあります。何度も失敗したこともありました。一番心に残っているのは、東京の損保ジャパン本社（元安田火災）で行った「ボーちゃん」の公演で、それはあこがれの場所<東京>だったのです。そして、メンバー&スタッフそして観客とが、一体となった感じがして大感動。終了後観光もできて、二泊三日の本当に楽しい公演旅行でした。

私は月に二回、病院の訓練に通っています。そこでは、嚥下訓練や呼吸法・発声の方法など言語聴覚士の先生に指導してもらい、とても力になっています。今後の人形劇に発揮できるよう練習していきたいです。

公演活動を支えてもらっている多くの人に感謝し、自分自身これからも練習に励んでいきたいと思っています。

## <協力者の思い>

### 「みんなでつくる人形劇」

渡辺 孝之

10月のパペットフェスティバル、11月の大府での公演と久しぶりに紙風船の公演を観ることが出来ました（最近はなかなかお手伝いにもいけなくて申し訳ありません）。そのとき観た「モコちゃん」は、自分の知っている以前のものとは演出や台詞、登場人物（虫?）などいろいろ変わっていてとても新鮮でした。作品としてより良くなっているのは言うまでもないですが、メンバー構成も変わっていて新たな役割、表現が加わり作品に幅が出来ているなと感じました。完成度を高めるというのも大切ですが、風に吹かれたら飛ばされてしまう「紙風船」はそのときそのとき関わっている人にいっそ飛ばされてしまえばいいのでは、なんて勝手に思います。同じ劇団の同じ作品でも観るたびに違う味わいがある・・・そんな人形劇を今後も広げて行って欲しいです。吹かれて飛んでいれば自ら風も起こしていける。そこにまた自分も巻き込まれていくのかな??





# ☆公演ページ☆

第110回 2008年10月12日(日) パペットフェスティバル 中区損保ジャパン 「モコちゃん」

様々な人形劇団が集まる毎年恒例の人形劇フェスタ。昨年に引き続き参加をしてきました。他の劇団の人形劇をみたり、夜の交流会に参加するメンバーもいたり、いろいろな人形劇団の方と触れ合える貴重な経験をしました。

第111回 2008年11月2日(日) 大府市社会福祉協議会・ボランティアグループひまわり共催  
大府市勤労文化会館 くちなしホール 「モコちゃん」

昨年に引き続き依頼をいただきありがとうございました。当日は、予想以上のお客さんが来て下さり、会場は満員。たくさんの方が会を成功させる為に、手伝って下さいました。入口にはとても素敵な看板も飾っており、あまりの可愛さにいただいてきてしまいました(笑) 皆さんの温かい気持ちを大切にこれからも頑張っていきます。

第112回 2008年11月8日(土) 刈払教育育連盟 東海支部 金城学院幼稚園にて 「モコちゃん」

とても会場が一体となった公演のように感じました。お客さんの距離が近かったからなのか、見て下さる方たちの真剣な表情が見え、私たちも最後まで集中して人形劇をすることができました。たくさんの方の温かい感想もありありがとうございました。

第113回 2008年11月29日(土) メシエイなべ 藤原地区公演 藤原文化会センター 「モコちゃん」

二度目の三重県藤原町での公演でした。私たちの他にも地域の和太鼓のグループや、中学生の鼓笛隊の演奏などがあり、会場はとてもにぎわいでいました。そんな中、私たちも無事に今年最後の公演を終えることができホッとしています。あたたかくてとってもおいしい豚汁とご飯を用意して下さいました。メシエイなべの皆様、本当にありがとうございました。

## 【今後の公演予定】

3月21日(土) ワイズメンズクラブ主催



楽しそうに演じていらっしゃる姿、うたっている時の笑顔、みなさんキラキラと輝いていらっしゃるとても素敵でした。観ている私も、いつの間にか笑顔になっていました。今日は皆さんからたくさんの勇気をいただきました。 Aさん

“可能性”の大切さ、努力、仲間を感じた時間でした。今日の出会いありがとうございました。 Bさん

公演の感想をいただきましたのでご紹介します☆



まるで人形が生きているようでした。少しだけしか動かせない手、少ししか出ない声ではなく、動くという事、声が出せるということが少しでも素晴らしい事で、いろいろな事ができるんだなぁと感じました。 Cさん

他にも公演時たくさんのご意見、ご感想をいただきました。ありがとうございます。

# 人間関係形成能力

南 寿 樹

「卒業して、一番大切だと思ったことは、(間) 社会人としての人間関係をつくる力です。苦手な人とも仕事をすることもあるのでそれ乗り越えていかなければいけません。(間) きついことを言われることもあるけど(どうしてこんなことを言われるのか)をよく考えていくことが大切だと思います。(間) けっして(ふざけんな)(むかつく)などと言ってはいけません。(間) また年上の人に向かってタメ口はダメ。(間) それから敬語も使えるようにしておいた方がいいです」 ※(間) とは言葉がとぎれて沈黙の状態になっていること

あさみ(仮名)さんが、ゆっくりと確かな口調で後輩たちに語ってくれた。先日の「卒業生のお話を聞く会」の時のことだ。その言葉の一つ一つがずっしりと重く後輩達にしみこむかのようなようだった。彼女は、4年前に卒業し、現在は水産加工品会社で働いている。しかし元担任の先生が言う。「今の姿を誰が想像できたことか！在学中は本当に大変だった。パニックになることが多く、実習などは暴れて手がつけられなくなり何度も中止になった」彼女は幼少の頃、心に深い傷を受けたためにPDS D(心的外傷後ストレス障害)となり在学中は人間関係でつまづき、よくフラッシュバック(思い出すこと)による発作を起こしたそうだった。次々に物を壊すトラブルは、毎日のようにあったという。

では「とても同じ人間とは思えない」と言われるまでにどうして変わったのだろうか？彼女は卒業してから2年間名古屋職業開拓校に通った。私はそこを見学して(この職業開拓校での人間関係や実習先での人間関係形成能力の発達に関係しているのではないかと直感的に思った。名古屋職業開拓校の坂口氏は、その人間性から人の話をよく聞いてくれる。だからそこに通う学生はみんな安心感を持っているようで穏やかな印象を受けた。その坂口氏が豊富な進路先とのつながりと丁寧な指導でその学生に合わせて実習先を用意してくれる。そしてその学生の心の支えとなり、実習先での不安を一緒に取り除いてくれる。特に(人間関係形成能力)に力を入れ、寄り添いながらその学生の職場での定着をめざしてくれるのだ。

愛知県教育センター長の山田賢一氏はその講演の中で次のように紹介した。「OECD(経済協力開発機構)は最近の早期離職率の高さの問題に対して提言を行った。それは異質な関係で形成される人間関係形成能力を身につけようということ。言い換えれば、初対面の人や目上の人と雑談する能力のことだ」 たかが雑談といえども、考えてみればそれはすごい力だ。適度な距離をとり、しかも不快な気持ちにさせない言語能力、しっかりと話を聞く力——総合的なコミュニケーション能力——確かに養護学校の生徒は、そこが弱い。話題提供ができないため人間関係が作れず、相互理解が困難になり、孤立する場合も多い。

ではどうやって身につけるか？・・・あさみさんが教えてくれる。「人の気持ちをわかるために国語の読みとりの力を身につけてください」「新聞は絶対に読んでください」「いろいろな人と出会ってください」・・・私は、それと同時に「人間が好き、そして自分が好き」という気持ちと「誰とでも雑談できる人間関係形成能力」をもつ援助者が必要だと思う。





# ボランティアさん大募集

仲間達と一緒に活動して下さる方、また食事の後片付けや掃除等を手伝っていただける方を随時募集しています。

興味のある方は、ぜひご連絡ください！！

## イエローレシートキャンペーン実施中

毎月11日「イオン・デー」に開催される『イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン』に愛実の会も参加しています。  
 現在ジャスコ名古屋みなと店様、マックスバリュート種若宮大通店様、イオン大高店様にボックスを設置させていただいています。  
 ぜひ、ご来店の際はご協力よろしくお願いします。

### <連絡先>

|                                                                                                                                                     |                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>特定非営利活動法人愛実の会 事務局<br/>居宅介護事業所 あみ</b><br>〒456-0034<br>熱田区伝馬1-8-1-201<br>TEL 052-700-1120<br>FAX 052-700-2383<br>e-mail npo-aminokai@sf.commufa.jp | <b>大 地 の 家</b><br>〒456-0034<br>熱田区伝馬2丁目28-14<br>「名古屋働く人の家」内<br>TEL 052-681-6488<br>e-mail ami_daichi01@yahoo.co.jp |
| <b>紙 風 船</b><br>〒457-0845<br>南区観音町5-109<br>TEL/FAX 052-694-5458<br>e-mail ami_kamifuusen@yahoo.co.jp                                                | <b>愛 実 友 だ ち の 家</b><br>〒456-0057<br>熱田区五番町18-29<br>TEL/FAX 052-651-5953<br>e-mail ami-tomo@na.commufa.jp          |

### 【編集後記】

いよいよ本格的に寒い冬がやってきましたね。  
 街中はキラキラと輝くイルミネーションやクリスマスソングが流れていたり、とても賑やかです。そんな中、愛実の会でもこれからクリスマス会など、楽しい行事が行われていきます。先日も、給食作りでお世話になっているメネット会の皆様に、心のこもった演奏やパフォーマンスを見せて頂き、みんなとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。  
 今年も多くの方に大変お世話になりました。ありがとうございます。また来年も一日一日の出会いを大切にみんなが笑顔でいられるように頑張っていきたいと思います。  
 今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

紙風船 林智恵